

授業科目名	看護倫理	担当教員	足立智孝
必修	開講年次：3年前期	単位：1単位	授業形態：演習 30時間

### 【授業概要】

「この状況において自分がしていることは正しいのだろうか」というような倫理的問題に対して、看護場面で何を基準に行動するのか、その決定の根拠となる理論を取り上げ、多方面から考えてみるとともに、具体的事例を通して、適切な対応のための考え方や意思決定能力を高めるための予行演習を行う。また、倫理における法的問題について実践的に理解できるよう提起する。

### 【授業目的・目標】

1. 日常臨床で起こっている倫理的ジレンマに気づく。
2. 倫理的ジレンマを分析し、具体的な問題点を明らかにできる。
3. 患者の人権や倫理的諸問題に対する関心や感受性を高める。
4. 演習や議論を通して自らの意見を表明し、意思決定できる能力を養う。

### 【履修条件】

2年次開講「生命倫理学」を修得していること

### 【授業計画】

- [01] イントロダクション：倫理学、生命倫理学から看護倫理へ
- [02] 看護倫理の考え方1：看護専門職と自己の看護観
- [03] 看護倫理の考え方2：看護者の倫理綱領と専門職
- [04] 看護倫理の基本概念1：徳の倫理と原則の倫理
- [05] 看護倫理の基本概念2：倫理原則
- [06] 倫理問題の検討1：人権擁護に関わる薬害問題
- [07] 倫理問題の検討2：生命の始期に関わる倫理問題
- [08] 倫理問題の検討3：生命の質に関わる倫理問題
- [09] 倫理問題の検討4：生命の終期に関わる倫理問題
- [10] 倫理事例の分析方法：倫理的意思決定のアプローチ
- [11] 倫理事例のグループ討議1
- [12] 倫理事例のグループ討議2
- [13] 検討倫理事例の発表1
- [14] 検討倫理事例の発表2
- [15] まとめ

### 【教科書】

特に指定しない。配布資料を用いる。

### 【参考書】

1. 服部健司・伊東隆雄編（2016）医療倫理学のABC 第3版，メジカルフレンド社
2. 宮坂道夫（2016）医療倫理学の方法，医学書院
3. 小西恵美子編（2014）看護倫理 改訂第2版，南江堂
4. サラ・T・フライ、メガン・ジェーン・ジョンストン（2010）看護実践の倫理 第3版，日本看護協会出版会

### 【評価方法・評価基準】

学期末課題レポート 50%、中間課題レポート 30%、討論及び発表への参加状況 20%

### 【講義のために必要な事前・事後学習】

事前学習：2年次「生命倫理学」で用いた教科書及び配布資料を復習すること。

事後学習：講義資料をもとに授業内容を復習すること。

### 【教育目標（必須要素）との関連】

この科目は、教育目標の必須要素Ⅱ. 質の高いケアを実践するためのリーダーシップ能力、Ⅲ. 根拠に基づいた看護実践能力、Ⅴ. 多職種から成り立つ医療チームにおけるコミュニケーションとコラボレーション能力、Ⅷ. 生涯にわたり継続して専門性を向上させる能力と関連する。

### 【試験や課題レポート等に関するフィードバック】

中間課題レポート及び学期末課題レポートは評価後に返却する。

### 【備考】